

（学校名）天津日本人学校

学校・周辺環境



今年度着任したフレッシュな3名です。初出勤の日に

校舎正面です。



【学校について】
 児童生徒数：小学部137名、中学部23名
 職員数：教員18名、事務職員3名、用務員等3名、外国語助手2名

全校児童生徒160名という比較的小さな学校ですが、縦割り活動等小学部と中学部の交流も日常的に行われ、「みんなが友達」というアットホームな雰囲気のある学校です。
 学校は、天津中心街から車で30分位の住宅地にあり、海外とは思えないほど落ち着いた環境にあります。また、最近では、大気汚染の問題も随分改善され、子どもたちは元気にグラウンドを走り回っています。



デジタル教科書を使った日常の授業

学び合いを柱にした授業～子どもの話し合いが

【授業の様子】
 全教室にノート型PCとプロジェクターが設置され、デジタル教科書を使いながら指導に当たっています。
 校内での教職員研修も充実していて、日本で行われている「初任者研修」を年10回程度実施し、教材研究や発問、学習展開の工夫等幅広く研修しています。子どもたちも、友達との交流や話し合い活動が大好きで、いろいろな視点で話し合っています。
 教科指導の他にも、委員会活動やクラブ活動があり、日本と同じように活動をしています。教室は、普通教室、理科室や美術室等の特別教室のほかに、図書館、体育館、室内プールが完備されています。

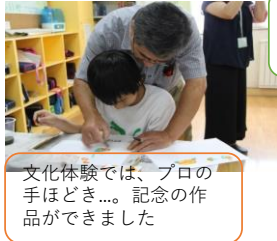


中国ならではの...の体験がたくさんあります




【主な行事】
 1学期：着任式・入学式、遠足（1・2年）、北京社会見学（中学部）、運動会、中国文化体験
 2学期：修学旅行（小6、中2）、北京宿泊学習（小5）、学習発表会、現地校交流会
 3学期：書初め大会、卒業式、終業式・離任式、卒業記念パーティー

校外学習では、現地の消防署等の施設を見学したり、動物園や水族館へ遠足に出かけたりしています。また、修学旅行では、中国国内で文化体験できる場所を探したり、見学したりしています。



文化体験では、プロの手ほどき...。記念の作品ができました

インター校、現地校と、交流の学年によって工夫



【現地理解教育・国際交流】
 中国文化体験：小学部3～6年（泥人形、剪纸、農民画、花文字）
 宿泊的行事：少林寺拳法、太極拳、変面作り等
 国際学校交流：小学部1～6年（年1回）、中学部1～3年（年3回）
 公立学校交流：小学部1～6年（年1回）、中学部1～3年（年1回）

天津には、3つの国際学校があり、その内の一つと小・中学部が交流し、10年になります。交流では、日本の伝承遊びや文化を英語で紹介し、一緒に活動をしています。また、学校で学習している中国語を使いながら中国の公立学校とも交流を行っています。

生活環境



天津は政府直轄地の一つ。高層ビルが立ち並び、近代的！

敷地を出ると、写真のような大きな道路。タクシーや



【住居】
 中国では、主に地元の方が住むアパートと、外国人が住むアパート、ホテル形式の住居がありますが、地域の環境や安全面、利便性を考慮し、選んでいます。
 住居は、学校が一括で契約を結び、提供しますが、住んでいる方は日本人が多く、居住場所は壁に囲まれていて、外部からの侵入者を防いでいます。
 また、敷地内には、幼稚園、病院、コンビニ（中国版）、食堂、運動場があり、住民は利用できます。最寄りの地下鉄駅までは、徒歩で10分で行くことができます。
 学校までの通勤は、住居で用意している巡回バスを利用しています。（無料）




路上に品物を並べて販売するローカル店と日本のスーパー

中国は広いので、年中いろいろな果物がおいしく食べられます。



【周辺のお店・病院等】
 住居周辺には、地元の商店があり、食品や果物、飲み物を購入することができます。また、食堂も数件あり、1食2～300円で食べることもできます。
 住居からタクシーを使って1メートルで、大型のショッピングモールがあります。そこには、ユニクロやH&Mなどの衣料品店をはじめ、日用雑貨、食品等すべてのものが揃います。最近では、日系のコンビニもオープンし、日本と変わらない雰囲気です。
 病院は、住居の敷地内にもありますが、日本人が行く病院は、他にも数件あります。セカンドオピニオンを求めたり、けがや病気によって使い分けをしていたりしているようです。



地下鉄が普及し、市民の足として利用されています。快適！

天津と言えば...
天津甘栗？ 天津飯？

【物価・休日・現地独自の文化等について】
物価については、日本と同等のものから、その5～8割といった状況です。乗り物は非常に安く、地下鉄・バスは1回40円、タクシーでも1メートル150円程度で、学校から住宅までタクシーを利用しても900円程度です。また、携帯電話は、現地で購入しようとすると若干高めですが、日本の携帯を持参し、SIMカードを購入して使用する場合は、1か月700円位です。
休日は、買い物へ出かけたり、習いものをしたりする人もいて、充実した生活を送っています。近年は、買い物から食事の出前、タクシーの呼び出しまでスマホのアプリでできるため、不自由のない生活を安く送ることができます。

応募者へのメッセージ

校長より

本校は、政府派遣教諭12名、学校採用教員6名の18名の教員と、現地スタッフ6名の24名で運営されています。
学校採用教員には、主に副担任として学級のサポートに入ってもらったり、専門教科を生かして授業をもってもらったりしています。現在は、小学部1～3年生に2名、小学部4～6年生に2名、中学部に2名配属し、それぞれの学年や学校行事にも参加し、力を発揮しています。
学校のスタッフ、学校理事の方々とも良好な関係であり、親睦を兼ねた会合が年2回行われています。また、誕生日を迎えた教職員へサプライズプレゼントをするなど仲間意識が強く、みんなで協力しながら教育活動を進めています。
子どもが好きで、やる気と熱意溢れる教員志望の若い力を待っています。

学校採用教員より

私は、大学生の頃より「いつかは日本人学校教師として海外で働いてみたい」という思いがありました。大学院修了後すぐに天津日本人学校での勤務が始まり、初めての社会人、初めての海外生活に不安もありましたが、先輩の先生方が仕事面、生活面ともにサポートして下さるため、安心して日々を過ごすことができます。小学部も教科担任制を取り入れている学校のため、自分の専門教科を生かして小学部・中学部の授業を行うことができます。子どもたちは、明るく素直です。小学部・中学部の交流が日常的にあるため、学部垣根を越えて仲の良い学校です。住居は日本人が多く住んでいる場所であるため、敷地内は日本語が使えます。また、天津には、日系スーパーや日本の飲食店等が多数あり、日本人医師のいる病院もあるため、生活しやすい環境が整っています。ぜひ、天津日本人学校と一緒に働きましょう。